

2020～2022年度

中期経営計画

2020年12月25日

リコーリース株式会社

顧客・市場

- ・新型コロナウイルス感染症による景気悪化懸念
- ・新技術を活用した新ビジネスの出現
- ・SDGs対応への期待の高まり

競合他社

- ・事業の多角化
- ・業界を超えた業務提携・協業
- ・地銀など異業種との競合激化

自社

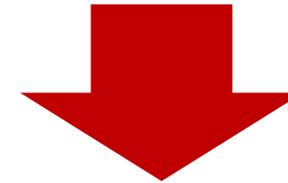
- ・“「リース」の先へ”の実現に向けたチャレンジ
- ・住宅賃貸・発電事業など資産の多様化
- ・将来の成長に向けた基盤強化（人財、IT）
- ・経営理念の改定

ビジョン

2017～
2019年度
中計

「リースの先へ」

リースだけでなく、金融だけでなく
環境・社会・顧客の発展に役立つ
サービス・商品を提供できる
企業に成長する



中長期の「**目指す姿**」を示し
「**事業ドメイン**」を再定義



『循環創造企業へ』

「個を中心に据えた経営」で
環境・社会・経済における良い循環を創造し
豊かな未来への架け橋となる

- 既存ビジネス強化と新規ビジネス創出により、事業活動を通じた社会的課題解決を図る

ESG	ドメイン	サブドメイン
E	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境循環 適正な環境循環・環境再生への貢献 	エネルギー（創エネ・省エネ）
		3 R（リデュース、リユース、リサイクル）
S	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーシャル&コミュニティ 多様なお客様に安心・安全な「住まう」、「暮らす」環境を実現し、豊かで活発な地域社会の創生に貢献 	ヘルスケア&ウェルネス
		レジデンス&ライフサポート
G	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネス&ガバナンス 社会が持続的成長をするための「働く」、「商う」、「作る」経済活動への貢献 	ワーク&コマース
		インダストリー&インフラストラクチャー



「個を中心に据えた経営」で
環境・社会・経済における良い循環を創造し
豊かな未来への架け橋となる

持続可能な
循環社会の創造

『循環創造企業へ』

『リースの先へ』

リース
割賦

金融
サービス

基盤事業周辺の新事業へ進出

個を中心に据えた経営の実現

- Environment ⇒ 環境循環
- Social ⇒ ソーシャル&コミュニティ
- Governance ⇒ ビジネス&ガバナンス

継続的な
価値創造

社会への
貢献

お客様への
貢献

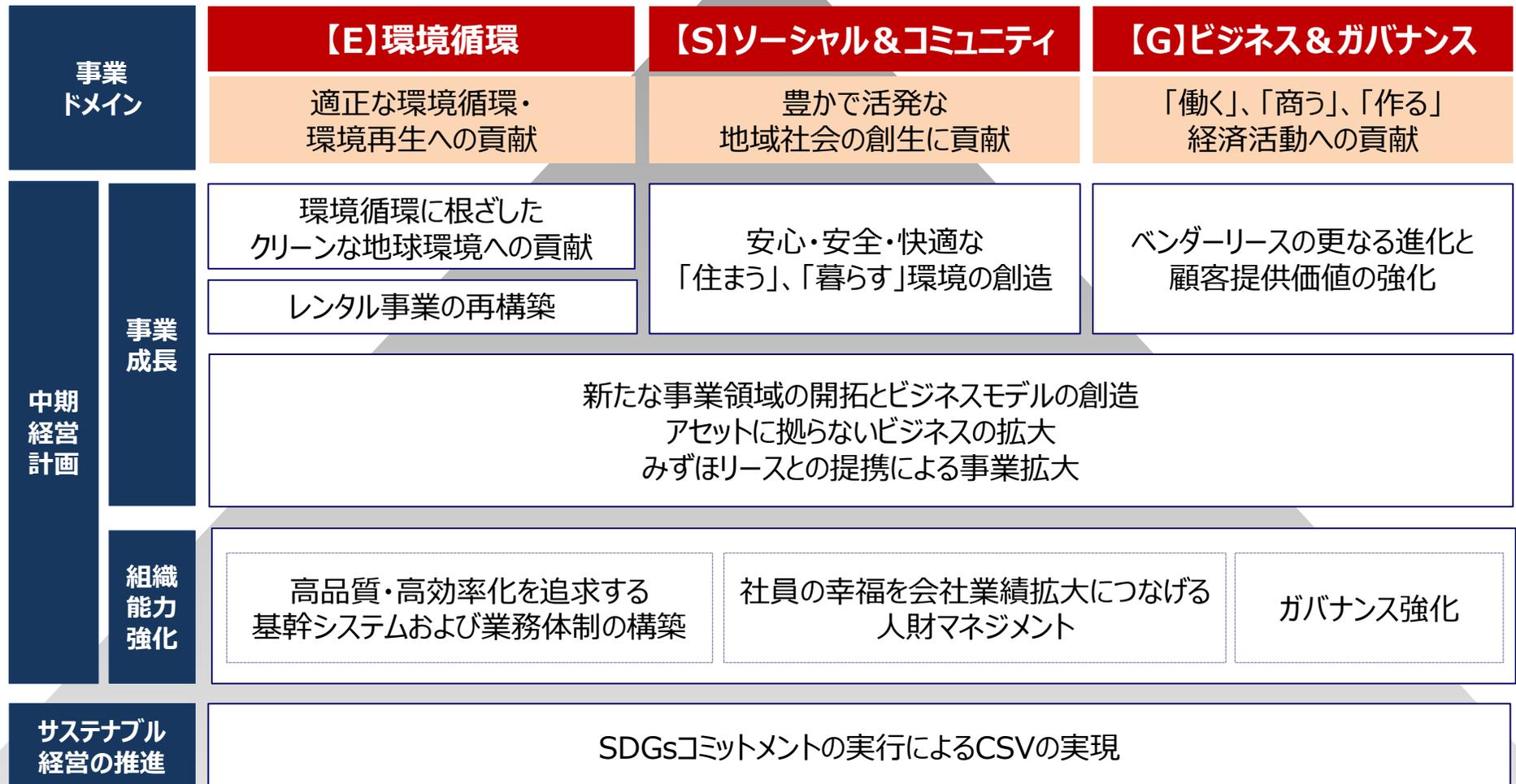
社員
ハピネス

2017~2019年度中計

2020~2022年度中計

5~10年後

『循環創造企業へ』



事業成長戦略

施策

1

ベンダーリースの更なる進化と顧客提供価値の強化



- ・更なるベンダー支援機能の充実
- ・顧客向けポータル構築による提供価値の強化
- ・資産の更なる優良化のための施策の展開

2

安心・安全・快適な「住まう」、「暮らす」環境の創造



- ・住宅賃貸事業+周辺サービスによる地域社会再生への貢献
- ・外部環境に合わせた多様なローンの提供
- ・ヘルスケア&ウェルネス分野のソリューション営業の強化

3

環境循環に根ざしたクリーンな地球環境への貢献



- ・再生可能エネルギー分野でのファイナンス提供と発電事業投資
- ・環境循環・環境負荷低減に資する3Rの強化

事業成長戦略

施策

4

新たな事業領域の開拓とビジネスモデルの創造



- ・ファイナンス手法の多様化による新分野の開拓
- ・出資先・提携先との協働による新規ビジネスの創出
- ・「E・S・G」にフォーカスした事業投資
- ・海外へのチャレンジ

5

レンタル事業の再構築



- ・リコーグループとの協業によるレンタル事業の拡大
- ・ICT分野の取り組み拡大
- ・新しいレンタルサービスの展開

6

アセットに拠らないビジネスの拡大



- ・既存商品での新分野開拓の強化
- ・社会・お客様の期待や要望に応えるサービスの開発

7

みずほリースとの提携による事業拡大



- ・既存事業の強化および新たな事業機会の創出

2020～2022年度 中期経営計画

組織能力強化戦略

組織能力強化戦略

施策

1

高品質・高効率化を追求する基幹システムおよび業務体制の構築



- ・新基幹システムの構築
- ・標準化・自動化による業務効率の推進と品質の改善
- ・審査・与信機能改革（仕組みとAI活用）

2

社員の幸福を会社業績拡大につなげる人財マネジメント



- ・社員の幸福（ハピネス）向上のための施策の展開
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの継続推進
- ・事業成長実現のための人材獲得と育成

3

ガバナンス強化

- ・企業価値向上のための施策展開
- ・内部統制・内部監査の充実

事業基盤強化に向けた投資について

- 持続的な成長を見据え、中長期的なIT・人材投資を継続する

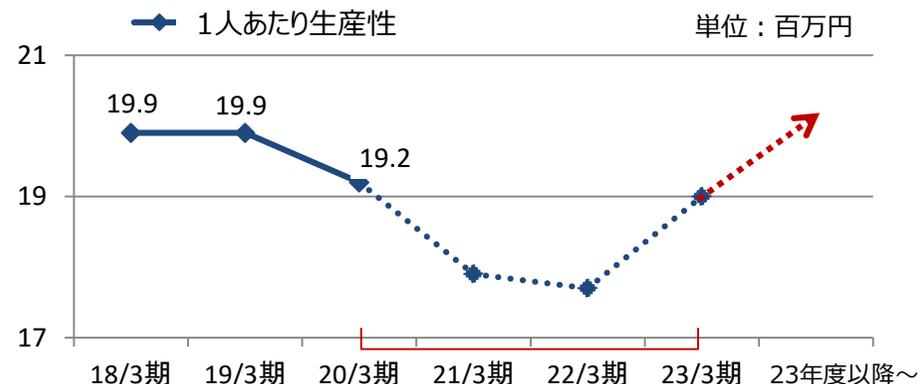
IT投資

中長期（20～22年度、23～25年度中計）の投資

	新基幹システム	投資内容	狙い
フロント	事業固有システム リース 手数料 新事業 ...	個別事業システム 決済機能強化	各事業の 利益成長
ミドル	業務共通システム 文書管理 ワークフロー ...	デジタルワークフロー 電子契約化	業務効率化
バック	共通システム 取引先 資産 請求 ...	ガバナンス強化 テレワーク対応	事業拡大と 多様化対応

生産性の向上

人材投資



人員計画	営業	↑ 増員	✓ 新規事業創出、ガバナンス強化のための人材強化
	スタッフ	↑ 増員	
	業務	→ 維持	✓ IT活用と業務改善による効率性追求により人員維持

稼ぐ部門に人材投資



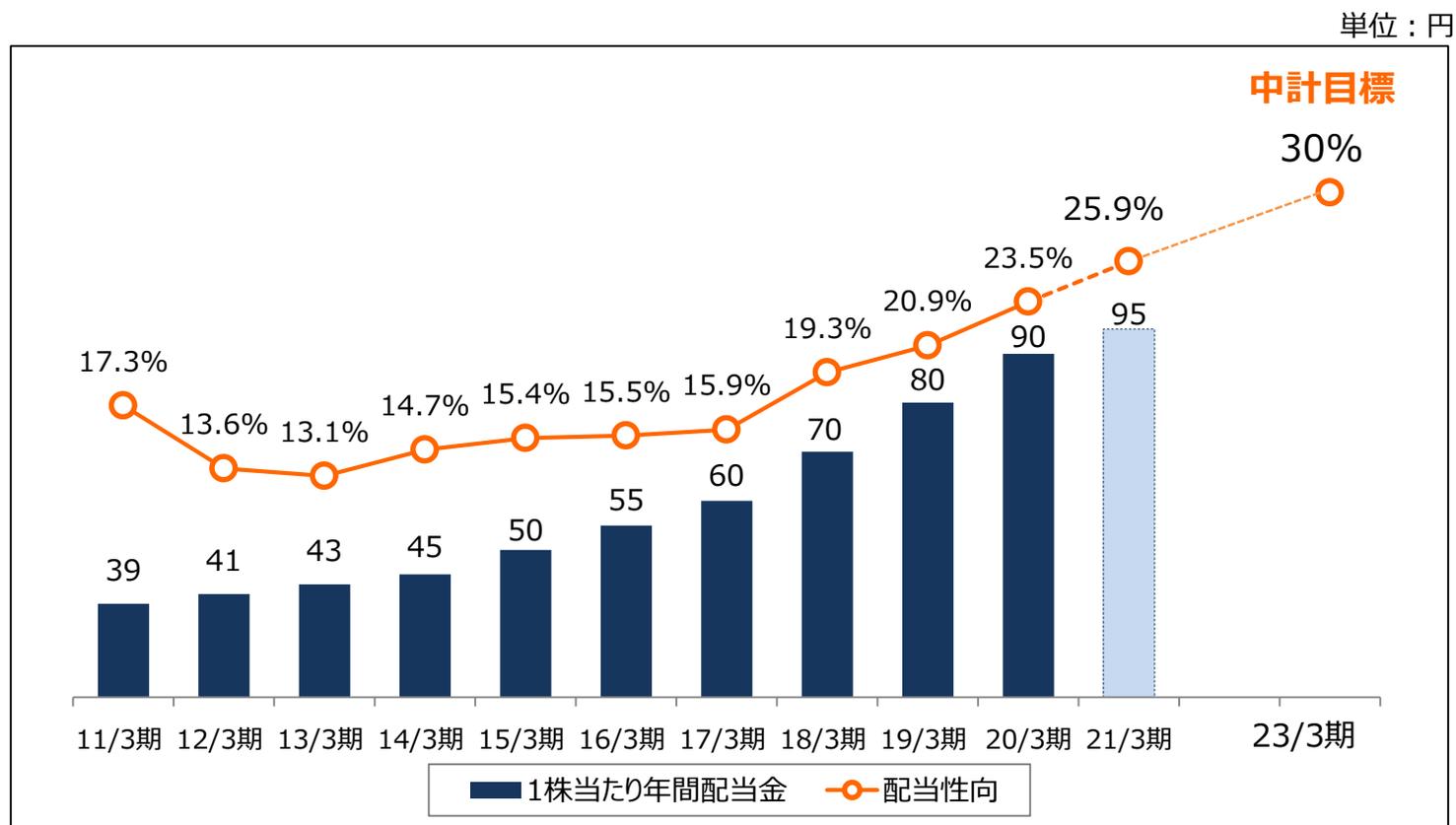
2020～2022年度 中期経営計画 目標

	2019年度実績	2022年度目標
営業利益	170億円	200億円
ROA (純利益/総資産)	1.08%	1.1%以上
ROE (純利益/株主資本)	6.6%	6.7%以上
営業資産残高	10,191億円	12,000億円

※債権流動化などの控除前残高

株主還元基本方針

中長期的に安定した株主還元を基本方針とし、持続的な成長と適正な資本構成および財務体質の強化を図りながら、着実に株主還元を進める。中計目標として配当性向30%を目指す。



トレンド

- ・人口動態の変化
- ・地球環境の変化
- ・テクノロジーの飛躍

持続可能な 循環社会の創造

企業価値向上

- ・収益性
 - ・資産効率
- 施策展開・伸長

積極的な資本政策

継続的な価値創造

- 社会への貢献
- お客様への貢献
- 社員ハピネス

経営理念

私達らしい金融サービスで
豊かな未来への架け橋となる

- ・誠実な事業活動
- ・想定を超えるサービス
- ・楽しくいきいき
- ・企業価値の増大

事業 成長

【E】環境循環

再生可能エネルギー、3R循環

【S】ソーシャル&コミュニティ

快適多様な暮らしの場創り、地域医療

【G】ビジネス&ガバナンス

ベンダーリースNo.1、ユニークなサービス

基盤 強化

組織能力

磐石なインフラ

品質管理

ガバナンス、内部統制、経営品質

SDGsコミットメントの実行

【利益拡大イメージ】

■リース&ファイナンス事業

工夫と効率性を高め、堅調推移を中長期的に確保。2020年～22年度中計にて、その為のベースを構築

■サービス・インベストメント事業

住宅賃貸やエクイティ投資、発電事業、集金代行やファクタリングは、2020年～22年度中計で伸長、そして事業の柱に

■新規事業

経営理念および中長期的視点として「E・S・G」の観点を追究し続け、事業を創造

2020～22年度 中計

2023年度～

10年後

ノンアセット事業を中心とした
新規事業の発掘・構築

サービス事業・
インベストメント事業を
第二第三の柱へ

事業成長を確実に
実現する人財と
インフラの強化

経営理念実現のための
サステナビリティ経営の
継続促進

長期指標 (10年後)

営業利益 300億円以上 (現在の倍)	ROA 1.3% ROE 8%
一人当たり生産性 1.4倍	配当性向 35%

2020～22年度中計で道筋をつけ、循環と創造で企業価値を飛躍させる



本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

リコーリース 株式会社

RICOH LEASING COMPANY, LTD.

経営企画部

Tel : 03-6204-0608
Email : ir@rle.ricoh.co.jp
URL : <https://www.r-lease.co.jp>